

楡の会こどもクリニック

所属メンバー

- ・石川 丹 (昭和 48 年卒)
- ・柳生 一自 (平成 12 年卒)
- ・高橋 有美 (平成 13 年卒)

卒後臨床研修医

0 名

専門外来

楡の会こどもクリニック

病院全体の医師数	3人
小児科医師数	3人 (うち非常勤 人)

病院全体の病床数	16床
小児科病床数(NICU、ベビーを除く)	床
NICU 病床数	床
新生児病床数(NICU を除く)	床

NICU としての認定 なし

平均小児科外来数	60人/日
平均時間外外来数	ほとんど0人/日 (小児科医が診察したものです)

年間入院患者数	50人/年
年間のべ入院患者数	250人/年 (入院患者数×入院日数)
年間時間外入院患者数	人/年

年間分娩数	人/年
年間低出生体重児(2,500g未満)数	人/年
極低出生体重児(1,500g未満)数	人/年
年間呼吸管理患者数	人/年

論文

1. 石川 丹: 3歳後半になっても二語文発話が無かったが文字習熟に連れてキャッチアップした1例. 小児科臨床 65: 310-314, 2012
2. 石川 丹、大塚耕右、植田祐樹、柳生一自: 4歳時の主訴は「アスペルガー症候群ではないか」だったが6歳時には疑い晴れた1例. 小児科臨床 65: 315-318, 2012
3. 石川 丹: 大田原症候群（サプレッション・バーストを伴う乳児早期てんかん脳症）. 小児のてんかん症候群: 11-15, 2012. 日本てんかん協会、東京
4. 石川 丹: 自己説得を育む: 「良い子の〇〇どこ行った」. 小児科診療 75: 2318-2319, 2012
5. 柳生一自、石川 丹、五十嵐大貴、下込由子、佐藤一浩、渡辺 綾、佐藤万里、西村真穂: 下肢痙性に対してA型ボツリヌス毒素治療を行った痙直型脳性麻痺児の3例. 小児科臨床 66: 78-84, 2013
6. 石川 丹、柳生一自: 初診後速やかに更生した少年非行の1例. 小児科臨床 66: 103-107, 2013
7. 佐藤祐基、傳田健三、石川 丹: 児童・青年期の双うつ病性障害の comorbidity に関する臨床的研究. 児精医誌 54: 27-41, 2013

学会発表

全国学会

1. 柳生一自、橋本直樹、豊巻敦人、久住一郎、室橋春光: 統合失調症における自己感覚の異常: 体性感覚誘発電位(SEP)・磁界(SEF)を用いて. 第30回日本生理心理学会、札幌市、2012/5/3
2. 高橋有美、小沢 浩、朝比奈直子、遠山 潤、加藤光広、久保田雅也、大瀧 潮、石塚丈広、有本 潔、木実谷哲、齋藤伸治: 14番染色体母親性片親性ダイソミー4例の発達予後. 第54回日本小児神経学会、札幌市、2012/5/17
3. 柳生一自、下條暁司、板垣 俊、横山里美、岩田みちる、大塚牧子、豊巻敦人、室橋春光: 四肢の痙性および重度の読み障害を来し、脳磁検査にて左前頭葉・側頭葉の機能不全が疑われた一例. 12回発達性ディスレクシア研究会、富山県、2012/7/6
4. 柳生一自、下條暁司、板垣 俊、横山里美、岩田みちる、大塚牧子、豊巻敦人、白石秀明、室橋春光: 重度の読み障害を来し、脳磁検査にて左前頭葉・側頭葉の機能不全が疑われた一例. 第42回臨床神経生理学会、東京都、2012/11/8

地方学会

1. 柳生一自、高橋有美、石川 丹、朝比奈直子：触刺激、抗重力姿勢への不安を示し、クロナゼパム投与にて改善し運動発達が促進された驚愕病の一例. 第 21 回日本小児神経学会北海道地方会、札幌市、2013/3/23

その他

1. 石川 丹：聞き分け無いと映る子の親への親育ち支援心理療法. 子育て支援フォーラム in 北海道、2012/9/29
2. 石川 丹：集団に上手く適応できないと映る子どもへの心理療法～小中学生の社会性の発達の理解と対応～. 福移小中学校学びの支援全体会、2012/11/1
3. 石川 丹：重症心身障害の主病態の診断、治療、看護. (4)知的障害(5)心理、行動面の問題. 日本重症児福祉協会認定看護師教育課程（北海道ブロック）、2013/2/25
4. 高橋有美、飯田純哉、村橋靖崇、石川亜貴、藤田裕樹、松山敏勝、越智さと子、吉藤和久、田中藤樹、續 晶子：進行性の関節拘縮・多発脱臼と運動退行を呈したダウン症候群の 14 歳女兒例. 第 18 回蔵王セミナー、山形県、2012/2/9

その他社会貢献など

1. 柳生一自（北海道教育大学非常勤講師）